

震災5周年を契機とした情報発信の強化について

平成28年1月
復興庁

1 基本方針

震災5周年の機会に、

- ① 震災からの教訓（まちづくり、コミュニティ、防災等）等の国民的な共有
- ② 復興の現状に関する内外への正確な情報発信（着実な復興の進展、原発事故の収束等）を目的とした取組を実施する。

2 基本的取組

（1）震災5周年を契機とした行事

- ① 復興庁主催の「コア・イベント」の実施（都内）
 - A 有識者、被災自治体や経済団体等による大所高所からの情報発信
 - B 若者・NPOや企業等による民間の自由な発想による情報発信

- ② 併せて、他省庁、自治体や民間に対して、イベントの実施を働き掛けるなど連携し、被災地内外で幅広く展開。

（※）併せて、復興庁において関係者で共有できる標語を定める。（別紙）

（2）伊勢志摩サミット関連会合での情報発信

伊勢志摩サミット前後の大臣会合の場（主に28年4～5月：科学技術、外務、財務、農業、エネルギー、交通、環境を想定）を活用して、風評被害の払拭等に資するよう、被災3県の復興についての正確な情報発信を行う。

（3）復興に関する総覧的なサイトの立ち上げ

各省庁の協力を得て、復興に関する催事予定やその結果、復興に関するデータ等を蓄積し、総覧的に情報提供が可能となるようなHPを立ち上げる。

平成 28 年 1 月
復 興 庁

震災 5 周年に際しての「標語」について

震災 5 周年を契機として、対外発信を強化していくにあたり、関係者間で共有できる標語を復興庁において定めた。

今後、復興庁ホームページや復興庁主催・後援のイベントなどにおいて、使用していくこととしている。

標語：新たなステージ 復興・創生へ

(参考) ロゴマーク



(使用例) 名刺

